

【目指す学校像】

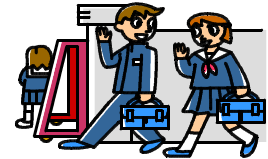
学びと感動と温かさのある学校

- 【教育目標】 1 自主・自学の向上心を持ち、真剣に学習する生徒
- 2 礼節の中に思いやりを持ち、互いに認め合う生徒
- 3 心身を鍛え合い、たくましく生きる生徒

【校訓】 『親和一誠』 『自発協力』

学校再開に向けて

コロナウイルス感染者の減少がニュースとして伝えられ、宮城県の「緊急事態宣言」が解除されるなど、感染拡大以前の生活に戻ろうとする機運が社会に広がっています。学校でも再開に向けて、準備を進めているところです。第二波、第三波の感染拡大も懸念され、先行き不透明な面もありますが、生徒が安心して登校できるよう、最善の準備をしていきたいと思ひます。



健康観察・課題回収配付日の様子から (5/12)

三密を防ぐために、各学年1組から3組が1時間の時間差で登校しました。



◇外で消毒，検温カードの提出◇



◇距離を保って列に並ぶ◇



◇課題の提出と配付◇

家で過ごすことが多かったためか、生徒の顔の色は心なしか白くなったという声が教職員から聞かれました。しかし、級友や教職員と久しぶりに会って、うれしそうな表情の生徒がたくさん見られました。校内が生徒の笑顔と歓喜であふれる日常が早くもどることを願うばかりです。

学校再開に向けての準備 (その1) ⇒備品として行動変容

本格的な生徒の登校を前に、学校では右の写真のように必要な備品等を用意し、学校内の衛生環境を向上させたり、安全のレベルを上げて生徒を迎えようと準備しています。また、1日の学校生活の流れについて、教職員のマニュアルを作成し、共通理解を深めているところです。このような準備に加えて、これから特に重要になることが、一人一人の「行動変容」です。「常に人との間隔に留意すること」や「手洗いと消毒の励行」，「体調不良の際は無理をしないで休む」など、新しい生活様式が社会全体に求められています。地域や学校（職場）へのウイルスの侵入を完全に防ぐことは、現実的にはとても難しいことです。学校でも再開後は、生徒一人一人の「行動変容」を促し、徹底を図ることによって、学校の安全度を向上させていかなければならないと考えます。



◇非接触型体温計を準備◇



◇手洗いの前に待つ位置を明示◇



◇各教室前に消毒用アルコールを設置◇

□学校再開に向けての準備（その2）⇒施設・環境□

風雨で腐食が進んでいた体育館への渡り廊下の全面改装と伸びすぎて市道にはみ出していた樹木の剪定を行いました。

臨時休業明けにはきれいで、すっきりした学校に生徒を迎えることができます。



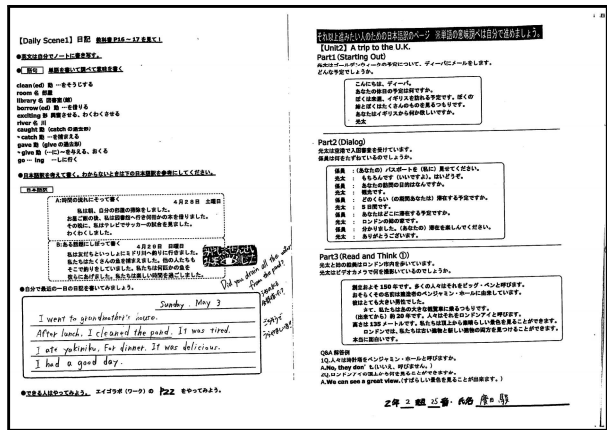
◇体育館への通路の改装◇



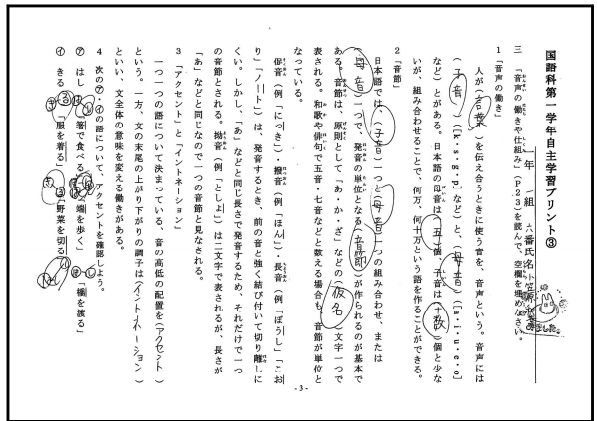
◇校地内の樹木の剪定◇

家庭学習の様子から

臨時休業中の家庭学習の様子については、「だらだらしている」や「ゲームばかり…」等の声も保護者の皆様から聞かれますが、登校した際に提出した課題の出来具合を見ると、しっかり課題に取り組んでいる様子が伝わってきます。子どもたちなりに学力への危機感をもっているのではないのでしょうか。学校再開まであともう少し、まずは生活のリズムを整え、復習そして予習も大切ですので、各ご家庭では学習の様子を見守り、励ましの声を掛けていただきたいと思います。



英文による日記の記入（2年）



国語の教科書の読み取り（1年）

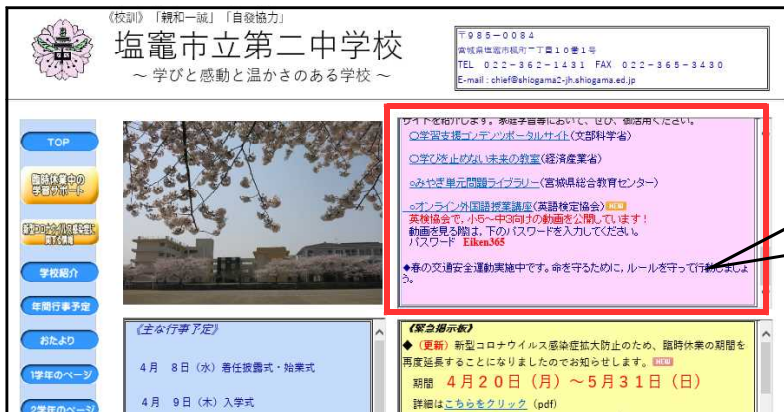


家庭科のマスクづくり（1年）



家でのトレーニング（3年）

☆学習サポートと二中ホームページについて（随時更新中です）



ここを下までスクロールすると関係機関の学習サイトにリンクする記事が表示されています。

※家庭でのプラスワンの学習に活用するよう、お声掛けください。